

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成19年7月5日(2007.7.5)

【公開番号】特開2005-305138(P2005-305138A)
 【公開日】平成17年11月4日(2005.11.4)
 【年通号数】公開・登録公報2005-043
 【出願番号】特願2005-79026(P2005-79026)
 【国際特許分類】

A 4 7 G 9/02 (2006.01)

【F I】

A 4 7 G 9/02 K

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月15日(2007.5.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下側寝具の隅部を挿入する下側受け部を寝具の足側の左右に設けた上側寝具用の包布であって、下側寝具の隅部が該包布の足側の辺から15～30cmの位置にくるように下側寝具受け部が設けられていて、かつ下側寝具受け部を形成する布帛の縫着間の縦方向の長さが、縫着間の包布本体の縦方向の長さより長いことを特徴とする上側寝具用包布。

【請求項2】

長方形に裁断した生地を長手方向に折り返して両縁を縫着し、足方向に開口した上側寝具の収納口が形成されている包布である請求項1記載の上側寝具用包布。

【請求項3】

長方形に裁断した生地を長手方向に折り返して両縁を縫着し、足方向に開口した上側寝具の収納口が形成されている包布であって、長手方向の折り返し部から10～30cm離れた位置で折り返し辺と平行に表裏の生地が縫着されていることを特徴とする請求項1記載の上側寝具用包布。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記の課題を解決するものであり、

- 1) 下側寝具の隅部を挿入する下側受け部を寝具の足側の左右に設けた上側寝具用の包布であって、下側寝具の隅部が該包布の足側の辺から15～30cmの位置にくるように下側寝具受け部が設けられていて、かつ下側寝具受け部を形成する布帛の縫着間の縦方向の長さが、縫着間の包布本体の縦方向の長さより長いことを特徴とする上側寝具用包布、
- 2) 長方形に裁断した生地を長手方向に折り返して両縁を縫着し、足方向に開口した上側寝具の収納口が形成されている包布である請求項1記載の上側寝具用包布、
- 3) 長方形に裁断した生地を長手方向に折り返して両縁を縫着し、足方向に開口した上側寝具の収納口が形成されている包布であって、長手方向の折り返し部から10～30cm離れた位置で折り返し辺と平行に表裏の生地が縫着されていることを特徴とする請求項

1 記載の上側寝具用包布
を要旨とするものである。